



令和5年7月吉日  
愛和小学校 PTA 会長  
担当 校外委員「こども110番」

令和5年度、新しい校外委員での活動がスタートしました。市の会議に参加して情報を共有し、通学路の見守りを行うなどして、今年度も子供たちが安全に過ごせる地域を目指して活動して参ります。1年間、よろしくお願いいたします。

さて、もうすぐ夏休みがやって参ります。

夏は日没が遅く、帰宅時間が遅くなったり、子供だけで出かける機会が増えたりするかもしれません。地域には「こども110番」に協力していただいている店舗や家があり、入口などにプレートやステッカーを設置していただいています。

「こども110番」とは、子供たちが付きまといや声掛けなど不安を抱く事態に遭遇した時に、助けを求めて駆け込める緊急避難場所のことです。

1年生は入学式の日、2～6年生は昨年度に配布した愛和小学校安全マップに「こども110番」の場所が記載されています。万が一何か起こった時にすぐに逃げ込めるよう、よく行く場所のまわりなど、お子様と一緒にご確認をお願いいたします。

### 「こども110番」の役割

- 駆け込んできた子供の一時保護
- 警察への通報
- 救急車の手配（状況により）
- 学校や保護者への連絡

こども110番の協力店や家は、ピーポくんが目印だよ！



### 子供の安全のために

- ・車の運転手と目を合わせ、安全を確認してから道路を渡ろう。
- ・道路は飛び出さない、はじを歩こう。 駐車場は遊ばない、通らない。
- ・家に入る時、エレベーターに乗る時は、怪しい人がいないかまわりを確認しよう。
- ・「知らない人」には、何を言われてもついて行かないようにしましょう。
- ・困ったときは避難所に逃げ込もう。防犯ブザーを鳴らしたり、大声を出したりしよう。

去る6月20日、こども110番連絡協議会の研修会、  
みんなで取り組もう！子供の防犯対策～こども、大人、地域ができること～に参加してきました。

子供たちの安全を守るためには、

- ① 子供の力＝自分を守るための予防や対処などの力
- ② 大人の力＝保護者など身近な大人が子供を守り、子供がもつ身を守る力を引き出す力
- ③ 地域の力＝子供や保護者だけでは対応できない範囲をサポートする力

これらの力が重なり合うように連携する事で、安全の力が強くなります。

近年、ライフワークの変化により子供がひとりになる場面も増えたので、世代を越えて子供たちの安全安心を守っていきましょう。

参考資料

みんなで守ろう！子供の安全 警視庁

[kodomo.pdf \(npa.go.jp\)](https://www.npa.go.jp/kodomo.pdf)